

個に応じた指導方法の工夫

狛江市立狛江第三小学校 中山美和

習熟度別指導を取り入れた指導の実際

小学校5年（創作文）

表現を工夫して物語を書こう「一まいの写真から」関連教材—光村図書5年

① 単元名 五年生の短編集を作ろう

② 単元の指導目標

◎写真から想像を広げて、物語に書くことを考え、文章全体の構成や表現を工夫して物語を書くことができる。

○書いたものを発表し合い、表現のしかたに着目して助言し合うことができる。

○物語にはいろいろな構成があることを理解することができる。

③ 単元について

(1) 学習過程の工夫

本単元は全6時間で構成し、すべて習熟度別クラス4展開【習熟度A】【習熟度BA】【習熟度BB】【習熟度C】で児童の実態に合わせた学習を展開し、個に応じた指導の充実を目指す。

【習熟度A】 毎時間、交流を設定し、交流による学習の充実を図る。

【習熟度BA】 推敲の仕方を学ぶ時間を設定する。

【習熟度BB】 表現の基本的な事項（文末表現・書き言葉など）を指導する。

【習熟度C】 短冊を使い、学習内容の確実な定着を図る。

(2) モデル文の提示

物語を自由に創作する学習のため、これまでに読んできた作品すべてがモデル文と考えられる。

【習熟度A】 構成・表現の工夫において、「さるかに合戦」をモデル文として取り上げる。

【習熟度BA】 推敲の仕方を学ぶためのモデル文を作成する。

【習熟度BB】 習熟度BAのモデル文に推敲を加えたものをモデル文とする。

【習熟度C】 設定と構成について学ぶために「桃太郎」をモデル文として取り上げる。

(3) 視点の提示

写真から想像する視点—「時」「場所」「人物」「気持ち」

設定を考える視点——「出来事や事件」「登場人物」「場所」「時（季節や日時）」

構成の視点—————「はじまり」「出来事（事件）が起きる」

「出来事（事件）が変化する。」「結末」

表現の工夫の視点——「書き出し」「会話」「たとえ」「様子を表す言葉」「文末表現」

推敲の視点—————「原稿用紙の使い方」「文の長さ」「誤字・脱字」「文末表現」

「主語と述語のねじれ」「句読点」「書き言葉」「会話や引用」

④ 単元構成（全6時間）

時	学習活動	
1	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・教科書の写真から一枚を選び想像したことを簡単な言葉で書き出す。 ・物語の設定を考える。 ・友達と交流する。
	B A	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・一枚の写真から想像したことを話し合う。 ・教科書の写真から一枚を選び、想像したことを簡単な言葉で書き出す。
	B B	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・教科書の写真から想像したことを簡単な言葉で書き出す。
	C	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・教科書の写真から一枚を選び、想像したことを書き出す。
2	A	<ul style="list-style-type: none"> ・物語の構成を確認する。 ・物語の大まかな構成を考え、表にまとめる。 ・構成を友達と交流する。
	B A	<ul style="list-style-type: none"> ・書き出したことを基に、物語の設定を考える。 ・物語のおおまかな構成を考え、表にまとめる。
	B B	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージマップを基に写真を一枚選ぶ。 ・書き出したことを基に、物語の設定を考える。 ・物語の構成について考える。
	C	<ul style="list-style-type: none"> ・書き出したことを基に、物語の設定を考える。
3	A	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の工夫について、これまでに読んだ物語などから考える。 ・表現を工夫して、物語の下書きを書く。 ・友達と交流する。
	B A	<ul style="list-style-type: none"> ・構成について友達と交流する。 ・表現の工夫について、これまでに読んだ物語などから考える。 ・表現を工夫して、物語を書く。
	B B	<ul style="list-style-type: none"> ・物語のおおまかな構成を考え、表にまとめる。
	C	<ul style="list-style-type: none"> ・物語のおおまかな構成を考え、表にまとめる。 ・短冊を利用して下書きを書く。
4	A	<ul style="list-style-type: none"> ・表現を工夫して、物語の下書きを書く。 ・友達と交流する。
	B A	<ul style="list-style-type: none"> ・表現を工夫して、物語を書く ・友達と交流する。
	B B	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の工夫について考える。 ・表現を工夫して、物語を書く。
	C	<ul style="list-style-type: none"> ・短冊を利用して物語の下書きを書く。
5 本 時	A	<ul style="list-style-type: none"> ・下書きを読み合い、意見を述べ合う。・友達の意見を取り入れたり、推敲したりする。
	B A	<ul style="list-style-type: none"> ・推敲の仕方を考える。 ・自分の作品を推敲する。
	B B	<ul style="list-style-type: none"> ・表現を工夫して、物語を書く。 ・自分の作品を推敲する。
	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを知り、短冊を読み返す。 ・短冊を基に物語を清書する。
6	A	<ul style="list-style-type: none"> ・清書する。 ・単元の学習を振り返る。
	B A	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見を取り入れたり、推敲したりする。 ・作品を読み合い、感想を伝え合う。
	B B	<ul style="list-style-type: none"> ・推敲の仕方を知り、推敲チェック表を基に推敲する。・作品を読み合い、感想を伝え合う。
	C	<ul style="list-style-type: none"> ・推敲チェック表を基に推敲する。 ・作品を読み合い、感想を伝え合う。

⑤ 本時の学習 (5/6時)

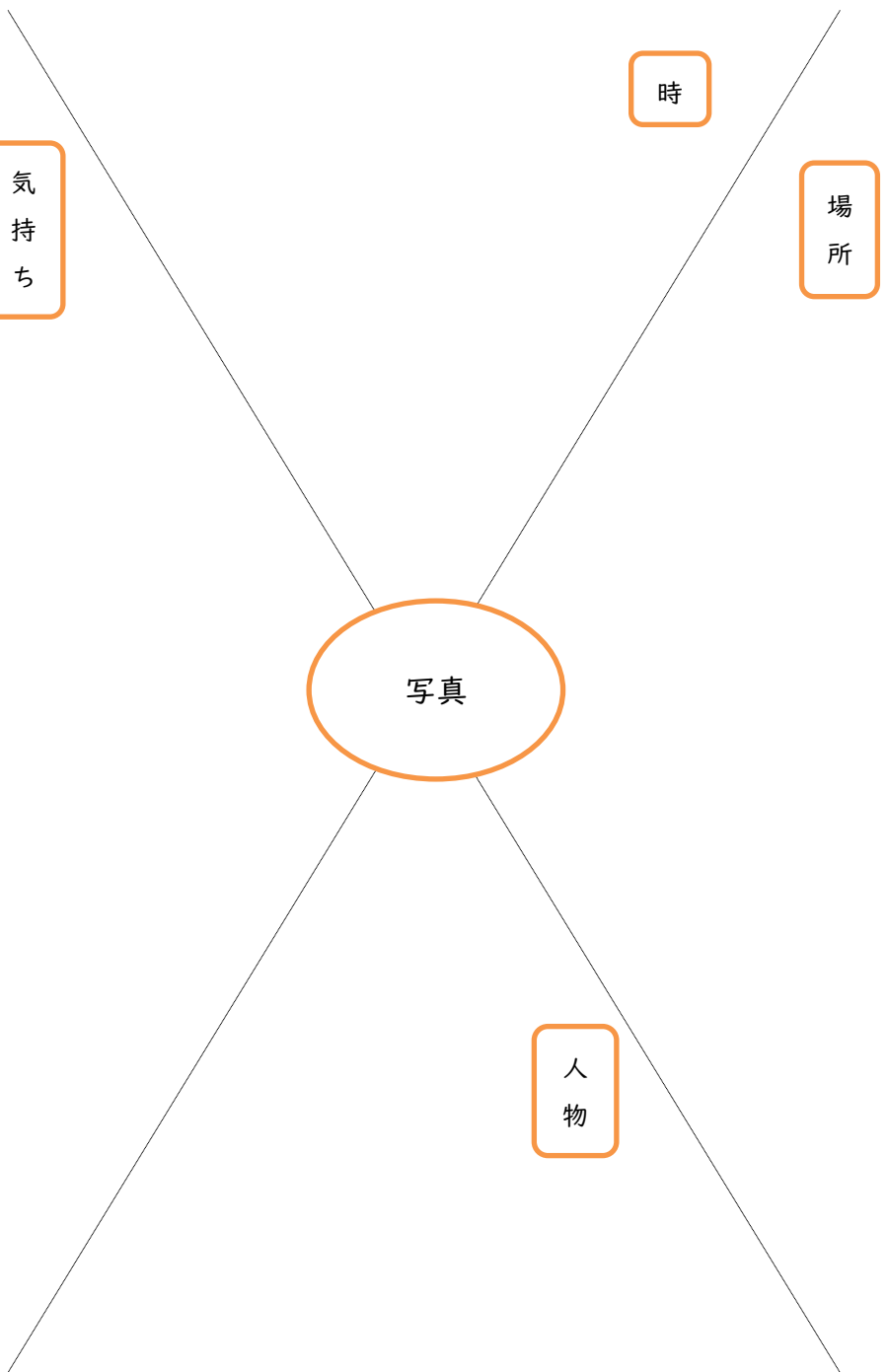
	習熟度 A	習熟度 BA	習熟度 BB	習熟度 C
目標	友達の作品を読んで表現の工夫を見つけ、自分の物語に活かす。	推敲の仕方を知り、自分の物語を推敲する。	表現を工夫して、物語を書く。	短冊の物語を読み返し清書をする。
学習活動	<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>友達の物語の工夫を見つけよう。</p> <p>2 意見を交流するポイントを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【表現の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語の設定が分かる。 ・情景が想像できる。(行動・会話・場面の様子) ・興味をひく書き出し ・たとえ・様子を表す言葉 ・においや色、音が伝わるように ・表記に関すること(文末表現・接続詞等) </div> <p>3 グループで交流する。</p> <p>4 友達の意見を取り入れたり、推敲したりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【児童の記入例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き出しから、何か事件が起こることを予想させる。 ・会話文で書くことで、主人公の気持ちがよくわかる。 ・においと色の表現で、温かい感じが伝わってくる。 </div> <p>5 振り返りを書く。</p>	<p>物語を推敲しよう。</p> <p>2 モデル文を推敲する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【児童の反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落の始めは、1字下げる。 ・漢字の間違い ・カタカナを適切に使う。 ・文末の統一(常体・敬体) ・主語と述語が合っていない。 ・1文が長すぎる。 ・話し言葉になっている。 ・「 」の使い方(会話・引用) ・、(読点)や。(句点)の打ち方 </div> <p>3 自分の物語を推敲する。</p> <p>4 友達の物語を推敲する。</p>	<p>表現を工夫しながら、物語を書こう。</p> <p>2 表現の工夫について、前時で学習したことを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【表現の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「言う」をちがう言葉にする。 ・つぶやく。 ・返す。 ・賛成する。 ◇書き言葉を使う。 ・いっぱい→たくさん 多くの ・でも→しかし ・～したり、～したり ◇会話文を登場人物ごとに口調を変えてその人らしさが出るよう工夫する。 ◇様子を詳しく表す言葉を入れる。 </div> <p>3 物語を書く。</p> <p>4 物語を書き終えたら、推敲する。</p>	<p>短冊に書いた物語を読み返し、清書しよう。</p> <p>2 書いた文章を読み返すポイント(表現の工夫など)を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【読み返すポイント(表現の工夫など)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文末表現は揃っているか。 ・同じ言葉を繰り返し使っていないか。 ・習った漢字を使っているか。 ・間違った漢字はないか。 <p>≪使ってみたい表現の工夫≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読む人の興味を引き付けるような、書き出しの工夫。 ・たとえや様子を表す言葉の工夫。 ・においや色、音などを伝える表現の工夫。 </div> <p>3 短冊に書いた物語を読み返す。</p> <p>4 清書をする。</p>

資料① 全コース共通 | 物語のイメージを膨らませ、設定を考える。

五年生の短編集を作ろう | 一まいの写真から①

名前

① 一まいの写真から、想像したことを書こう。



② 書き出した言葉を見ながら、物語の設定を考えよう。

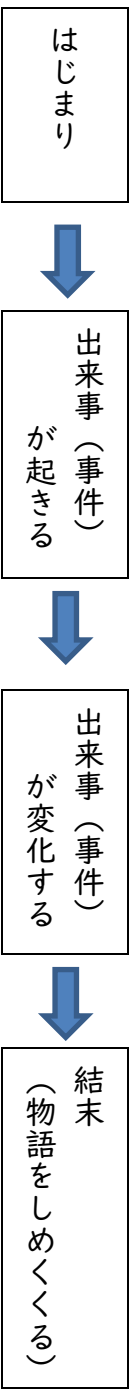
時(季節や日時)	場所	登場人物	出来事や事件

資料② 全コース共通 | 物語の構成を考える。

五年生の短編集を作ろう。くまいの写真から②

名前

◆ 物語の構成の例



・時
・場所
・登場人物

読む人をひきつける
ような書き出し

・それは、ある日のこと
・その事件は、くまに起きた。
・主人公が何かに出会う。
など

何かが起きる

・物語の中で一番
盛り上がるどころ
・新しい人物の登場
など

解決に向かう

・事件が解決する様子
・その後どうなったか
など

◆ 物語全体のイメージ

◆ 読む人に伝えたいこと

◆ 構成を書こう。

はじまり	
出来事(事件) が起きる	
出来事(事件) が変化する。	
結末	

資料③ 全コース共通 ― 表現の工夫について考える。

五年生の短編集を作ろう ― まいの写真から

名前

◆ 構成を考えよう。

はじまり	
出来事（事件） が起きる	
出来事（事件） が変化する。	
結末	

◆ 表現の工夫について考えよう。

① 語り手をだれにするか。

② 書き出しを考える。

★第三者の場合	
★登場人物の場合	

★登場人物の説明	
★場面の様子	
★会話から	

資料④ 習熟度▶ | 昔話「さるかに合戦」から構成と表現の工夫を学ぶ。

五年生の短編集を作ろう。くまのの写真をからく名前

「さるかに合戦」から、表現の工夫を学ぼう。

◆ 構成を考えよう。

はじまり	昔、さるとかにが出会う。 それぞれが拾ったかきの種とにぎり飯を交換する。
出来事（事件） が起きる	<ul style="list-style-type: none"> ・かには種をまき、かきを育てる。 ・かきが実ると、さるがやってくる。 ・さるがかにかきをとる。（かきの実をぶつけて、死なせてしまう。）
出来事（事件） が変化する。	かにの子らは、うすやハチ、くりなどに協力を求める。
結末	みんなで力を合わせて、さるをこらしめる。

◆ 表現の工夫について考えよう。

① 語り手をだれにするか。

② 書き出しを考える。

<p>★第三者の場合</p> <p>昔、さるとかにが山で出会いました。 (ナレーター)</p>	<p>★登場人物の場合</p> <p>ある日、おれは山でさるとかに 出会った。 (かに)</p>
---	--

<p>★登場人物の説明</p> <p>おれはかに。山のふもとの小川に住んでいる。</p>	<p>★場面の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく晴れた日のこと。 天気 ・春のあたたかくポカポカした… 季節
<p>★会話から</p> <p>「やあ、さるとん。こんなところで…」 「かにどん、おれのかきの種とそれにぎり飯…」</p>	

資料⑤ 習熟度▶ | 板書記録「表現の工夫について考える。」

五年生の短編集を作ろう。くまいの写真からくま前

今までの国語の学習を振り返り、表現の工夫について考えよう。

表現の工夫

◆ 物語の設定が分かるように

登場人物・場所・時・季節 など

◆ 情景が想像できるように

「 」 会話文・行動を詳しく・場面の様子（情景描写）

◆ オノマトペ（音や声、状態を表す。）

◆ 様子を表す言葉（音・におい・色などが伝わるように）

◆ 読む人をひきつける 書き出し

◆ 語り手

◆ 比喩（たとえ）

◆ 言葉「笑う」・・・ ほほ笑む・にやにや笑う・ほくそ笑む・爆笑

◆ 文末表現

↓ 人柄を表すこともできる。

◆ 表記

誤字・脱字

カタカナ・ひらがなの使い方

接続詞

五年生の短編集を作ろう
 〰️〰️まいの写真から〰️
 () 名前

◆ 書き終わったら、推敲しよう。

① 書き終わったら、読み直す。



② 間違いを見つけて、正しく直す。



③ 内容を見直し、よりよくする。

◆ 推敲チェック表

表記について					
常体が敬体で統一されているか。					
「、」「。」「」が抜けているところはないか。					
誤字・脱字はないか。					
内容が変わるときは、段落を変えているか。(一字下げ)					
習った漢字は使っているか。					
内容について					
題名や書き出しは、読む人の興味をひくものになっているか。					
一文が長くなりすぎていないか。					
様子が分かるように書いているか。					

◆ 友達の物語を読もう。